

平成30年度 事業計画



今年の桜は開花が早く、新年度がスタートした4月にはすでに見頃も過ぎていました。毎年恒例の新年度最初の行事「観桜会」も今年はほぼ「観葉会」。それでも4月の暖かな陽気のおかげで春の装いを其処彼処に見ることができました。さて、平成30年度は偕楽荘開設50周年の節目の年です。今から半世紀前の昭和43年6月1日に偕楽荘は事業を開始しました。平成8年には現在地へ移転新築。開設当初から高齢者の自立支援に取り組み続けています。近年は毎年の事業計画で「健康寿命の増進」や「介護予防」に力をおき、また施設の機能を地域に還元するための取組みにも積極的です。

最近、介護予防と並び注目されているものに「フレイル予防」があります。フレイルとは、厚生労働省研究班の報告書では「加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」とされています。簡単に言い換えると、「年をとって病気がちになり、なんとなく億劫なことが増え元気がないけど、ちょっとしたお節介やお手伝いがあれば、まだまだ元気を取り戻せますよ」というところでしょうか。実は偕楽荘が目指す「元気すぎる高齢者」には、このフレイル予防の考え方が非常に重要なのです。ご利用者にはちょっとお節介と感じられているかもしれない各種の取り組みや日常生活のお手伝いが、ひいてはフレイル予防につながっているというわけです。平成30年度の偕楽荘事業計画でも様々な取り組みが予定されています。介護予防教室「GOGO体操」、お料理教室「わくわくキッチン」などは地域の高齢者の方に開放され、共に取り組んでいただけます。その他ご利用者個々の個別支援にも例年以上に取り組む予定です。当法人のキャッチコピー「人と人を笑顔でつなぐ」をモットーに、偕楽荘が目指す「元気すぎる高齢者」を目指し、職員一同、事業計画の実現に取り組んでいきます。今年度も偕楽荘に変わらずのご支援とご協力の程、よろしくお願いいたします。